

# テクニカルインフォメーション

## オニキス HD

### 4コートシステムのボカシ塗装

#### B 3.2

#### プロセス説明

本工程でのボカシ作業により、目視ではほぼ見分けがつかない補修レベルに仕上げることができます。  
3コートまたは4コートシステムの場合、ボカシ塗装範囲が非常に広がります。  
このため、1枚のパネル内でボカシ作業を完結させることには、適していません。

4コートシステムの色調は、ステップ3で塗装する塗膜の膜厚で変化します。最適な色調を決定するためには、  
塗装回数(2～4回)がそれぞれ異なるテストピースを作成してください。ステップ3で塗装した塗膜の膜厚が、  
最終的な色にどれほど影響するか、テストピースを見ることではっきり確認することができます。

#### 下地

- R-M フィラー
- 自動車 OEM 塗膜
- 硬化型補修塗膜

#### 必要な製品

- オニキス HD グランドコート / ステップ1の調色処方を参照
- オニキス HD ベースコート / ステップ2の調色処方を参照
- オニキス HD ベースコート / ステップ3の調色処方を参照
- 選択したクリヤー

#### 安全に関する注意

本製品には、取り除けない 0.1  $\mu\text{m}$  未満の細かい粒子が含まれている可能性があります。

業務用向けに限定された製品です。

これらの製品を使用される際には、労働安全衛生ガイドラインに従い個人保護具を着用して下さい。

本文書内のデータは、現時点での弊社の知識と経験に基づいて提供しております。弊社の製品を使用した作業、ならびに塗装に影響を及ぼす可能性のある様々な要因を考慮すると、本書で提供されている情報に関わらず、製品使用者それぞれにおいて調査や試験を実施する必要があります。本文書内の記述、図表、写真、値、比率、重量などは、一般的な情報に限定して提供しており、事前の通知なしに内容が変更されることがあります。また、製品仕様など、契約上同意した製品の品質とは区別して取り扱うものとします。最新版の文書が、全ての古い文章より優先されます。最新版は、Web サイト [www.rmpaint.com](http://www.rmpaint.com) または、営業担当者から入手することができます。弊社の製品使用者は、所有権、法律、規定など責任を持って順守しなければなりません。

R-M Automotive Refinish Paints, Z.I. du Merret F-60676 Clermont de l'Oise Cedex, Tel. (+33) (0) 3 44 77 77 77, 12/2014



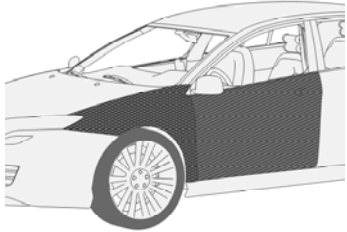
# テクニカルインフォメーション

## オニクス HD

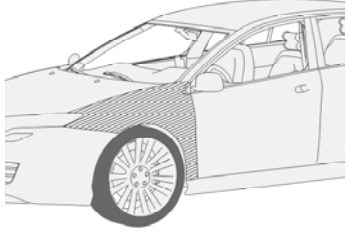
### 4コートシステムのボカシ塗装

#### B 3.2

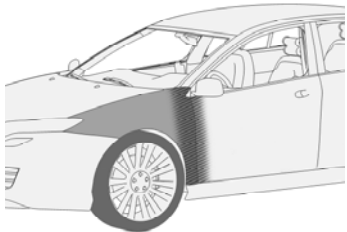
##### 1) 前処理

	<ol style="list-style-type: none"><li>1) PK 1000 で脱脂</li><li>2) P 400 でフィラー塗装面を空研ぎ</li><li>3) P 1000 で隣接パネルを研磨</li><li>4) PK 2000 で脱脂</li></ol>
---	---

##### 2) グランドコートの塗装 (ステップ 1)

	<p><b>マスキング:</b> マスキングフィルムなどで隣接パネルを保護</p> <p><b>混合比:</b></p> <table><tr><td>オニクス HD</td><td>100% (vol.)</td></tr><tr><td>オニクスアクチベーター</td><td>5% (vol.)</td></tr><tr><td>ハイドロミックス</td><td>80% (vol.)</td></tr></table> <p>各製品を添加後、十分に攪拌すること</p> <p><b>圧力:</b> 2 bar</p> <p><b>塗装回数:</b> 1 - 2 回 (補修パネルに対して)</p>	オニクス HD	100% (vol.)	オニクスアクチベーター	5% (vol.)	ハイドロミックス	80% (vol.)
オニクス HD	100% (vol.)						
オニクスアクチベーター	5% (vol.)						
ハイドロミックス	80% (vol.)						

##### 2.1) グランドコートの塗装 (ステップ 2)

	<p><b>マスキング:</b> 隣接パネルからマスキングフィルムなどを取り外す</p> <p><b>圧力:</b> 1.5 bar</p> <p><b>塗装回数:</b> 1 回 (補修パネルと隣接パネルが接する部分をボカシ塗装)</p> <p><b>フラッシュオフ:</b> つやが消えるまでフラッシュオフタイムを取る</p> <p><b>クリーニング:</b> タッククロスを使用して余分なスプレーミストを除去</p>
---	--

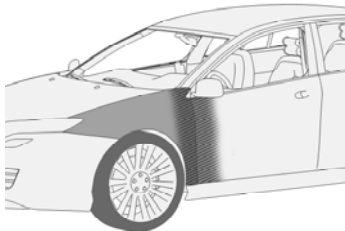
# テクニカルインフォメーション

## オニキス HD

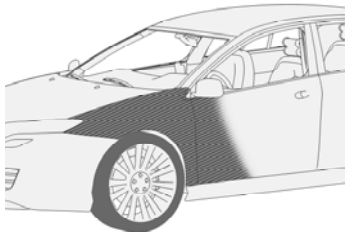
### 4コートシステムのボカシ塗装

#### B 3.2

#### 3) ベースコートの塗装 (ステップ 1)

		<b>ソリッド</b>	<b>メタリック / パール</b>	
	<b>混合比:</b>	<b>オニキス HD</b>	100% (vol.)	100% (vol.)
		<b>オニキスアクチベーター</b>	5% (vol.)	—
		<b>ハイドロミックス</b>	80% (vol.)	60% (vol.)
		各製品を添加後、十分に攪拌すること		
	<b>圧力:</b>	1.5 bar		
<b>塗装回数:</b>	1 回 (補修パネルと隣接パネルが接する部分をボカシ塗装)			
<b>フラッシュオフ:</b>	つやが消えるまでフラッシュオフタイムを取る			
<b>クリーニング:</b>	タッククロスを使用して余分なスプレーミストを除去			

#### 3.1) ベースコートの塗装 (ステップ 2)

	<b>塗装回数:</b>	2 回  2 回とも最初はエアーク圧を 1.5 bar に落とし、前行程での塗装に沿ってボカシ塗装をした後、エアーク圧を 2 bar へ上げ、補修パネル全体を塗装。	
	<b>フラッシュオフ:</b>	塗装毎につやが消えるまでフラッシュオフタイムを取る	
	<b>クリーニング:</b>	タッククロスを使用して余分なスプレーミストを除去	

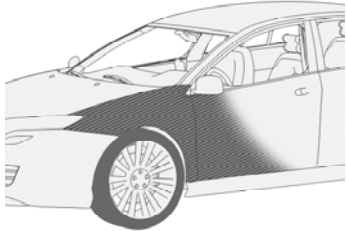
# テクニカルインフォメーション

## オニキス HD

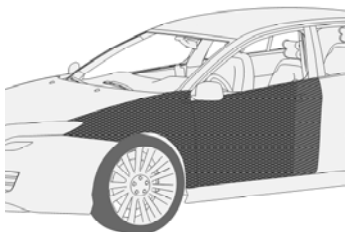
### 4コートシステムのボカシ塗装

#### B 3.2

#### 4) ベースコートの塗装 (ステップ 3)

	<b>混合比:</b>	<b>オニキス HD</b> 100% (vol.) <b>ハイドロミックス</b> 60% (vol.)
	<b>塗装回数:</b>	2 - 4 回 (希望する色に応じて) 塗装毎に最初はエア圧を 1.5 bar に落とし、前行程での塗装に沿ってボカシ塗装をした後、エア圧を 2 bar へ上げ、補修パネル全体を塗装。
	<b>フラッシュオフ:</b>	塗装毎につやが消えるまでフラッシュオフタイムを取る 最後の塗装後は、さらに 10 分セッティングタイムを取る

#### 5) クリヤーの塗装

	<b>塗装回数:</b> 2 回 (補修部分全体に) 選択した R-M クリヤーのテクニカルデータシートの指示通りに塗装
---	---

#### 6) 補修部分の乾燥

塗装したクリヤーのテクニカルデータシートに従い、補修部分を乾燥。